

Inside

- 02 2021年はどんな年? 金融市場のテーマと展望 ● 上野 剛志
- 04 発行も視野、中央銀行デジタル通貨 ● 鈴木 智也
- 06 「ぴえん」とは何だったのか ● 廣瀬 涼
- 08 骨太方針に盛り込まれた「社会的処方」の功罪を問う ● 三原 岳
- 10 AIと研究開発DX ● 百嶋 徹
- 11 バイデン新政権発足、円相場への影響は? ● 上野 剛志



RESEARCH

2021年はどんな年? 金融市場のテーマと展望

(執筆時点1月15日)



うえのつよし

98年日本生命保険相互会社入社、
07年日本経済研究センターへ派遣、
08年米シンクタンク The Conference Boardへ派遣、
09年ニッセイ基礎研究所(現職)。



経済研究部 上席エコノミスト 上野 剛志
tueno@nli-research.co.jp

2021年初の金融市場では、先行きへの楽観が強まり、株価が連日で高値を更新する展開となった。また、じわりと進んできた円高もとりあえず一服した。ただし、内外情勢の先行き不透明感は引き続き強い。改めて今年の市場のテーマと動向を展望したい。

1——2020年はコロナと政策効果で激動

まず、去年の市場の動きを振り返ると、ドル円レートは年初に円安に振れた後、3月に新型コロナの拡大に伴う世界経済の失速とFRBの利下げを受けて急落し、一時1ドル101円台まで円高が進んだ(図表1)。しかし、その直後には流動性確保のために国際決済通貨であるドルを求める動きが広がり、111円台に急騰するなど乱高下した。春以降はFRBによるドルの大量供給と金融緩和の長期化表明、米財政赤字拡大を受けてドル売りが優勢となり、年末にかけて103円台まで円高が進んだ。

[図表1]ドル円相場と株価(2020年~)

資料: Thomson Reuters 注: 直近は1月13日時点まで



一方、日本株(日経平均株価)は年初に24000円台に乗せた後、3月に新型コロナ拡大に伴う世界経済失速と円高によって急落し、一時は17000円を割り込んだ。

春以降は、主要国で経済活動の再開が進んだうえ、何より各国政府・中央銀行による未曾有の規模の財政出動と金融緩和の強力なポリシーミックスが投資家心理の改善を通じて株価の強い追い風となった。さらに、年終盤にはコロナワクチンの開発が進んで欧米で接種が開始されたこと、米大統領選で大規模な財政出動を掲げるバイデン氏が勝利を確実にしたことも好感され、約30年ぶりに27000円台を回復した。2020年は多くの材料があったが、「新型コロナとその政策対応を受けて激動した一年」と総括できる。

2——2021年はどんな年?

それでは、2021年は金融市場にとってどのような年になるだろうか?内外の注目材料を点検してみる。

(1)世界共通: コロナ感染収束の可否

まず、世界共通かつ最重要のテーマとなるのは「新型コロナ感染収束の可否」だ。現在も、主要国では感染の拡大が続いているが、感染収束のための最大のキギはワクチンとなる。ワクチンの普及によって集

団免疫が獲得できれば、感染収束に伴う経済活動の正常化が期待できる。

昨年末以降、欧米等でワクチンの接種が始まっているが、まだ安心はできない。ワクチンの有効性や持続性、大きな副作用の有無については、今後明らかになってくる。また、先行する一部のワクチンは取扱いが難しいこともあり、普及が遅延する恐れもある。

こうした課題をクリアして、早期に有効なワクチンの普及が進むかどうか注目される。

(2)海外材料

次にコロナ以外の材料に目を転じよう。(図表2)

①米国: バイデン新政権とFRB

まず、米国ではバイデン新政権の政策運営が問われることになる。新政権に率先して求められるのは少なくとも当面は続くコロナ禍における景気の下支えだ。市場は早期の追加経済対策を織り込んでおり、その実現性や規模が焦点となる。

また、公約に掲げていた各種政策の実現に向けた取り組みもテーマになる。特に

[図表2] 2021年の主なスケジュール(見込み)

時期	米国	日本	欧州・他
1月	ジョージア州上院決選投票 バイデン新大統領就任	日英EPA発効 通常国会召集	
1~2月	施政方針演説・予算教書	春闘本格化	
3月			イスラエル総選挙
6月			イラク総選挙 イラン大統領選
7月		東京オリンピック(~8月)? 東京都議任期満了	中国共産党結党100周年
8月		東京パラリンピック(~9月)? エネルギー基本計画見直し	
夏頃			
9月		自民党総裁任期満了 デジタル庁発足予定	香港立法会選挙 ドイツ総選挙(メルケル首相退任)
10月		衆議院任期満了	
未定		RCEP発効? 新500円硬貨発行	シリア大統領選

2兆ドルの環境・インフラ投資(株価上昇要因)や増税・規制強化(株価下落要因)、米中対立(緩和なら株価上昇要因)の行方が注目される。

なお、これに関連して、1月5日に実施されたジョージア州上院決選投票で民主党が勝利し、トリプルブルー*が実現した。この結果、新政権は政策を進めやすくなる。ただし、上院はぎりぎりの過半数に過ぎない。党内に極端な意見を持つ急進左派を抱えることから、一筋縄ではいかないだろう。

また、今年はこれまで世界的に株価を支えてきたFRBの大規模緩和の持続性にも注目が集まる。米国の物価上昇率が2%を大幅に下回るなか、FRBは当面2%を上回る物価上昇を許容する方針を示していることから、利上げ再開が数年先の話になる点は疑いがない。しかし、現在の大規模な量的緩和をいつまで続けるか(いつから縮小を始めるか)については不透明だ。

② 欧州他：独選挙と地政学リスク

欧州の注目材料は9月に予定されているドイツの総選挙だ。同選挙をもって、メルケル首相は長きにわたって務めてきた首相の座から退くことを表明済みだ。同氏はドイツのみならず、EUの中心的な指導者としての役割を担ってきただけに、退任の影響は軽視できない。ドイツ・EUの政治の安定が保たれるか、後任人事が重要になる。

その他地域では、北朝鮮や中東の地政学リスクが注目される。北朝鮮の金委員長はトランプ米大統領と個人的に良好な関係を築いてきたが、同氏の退任に伴ってリセットされることになる。バイデン新政権の姿勢や対応次第で北朝鮮指導部がミサイル発射実験等の示威行為を再開し、市場が緊迫化する恐れが出てくる。

また中東では、イランと米国の関係が注目材料になる。バイデン新大統領はイラン核合意への復帰を模索している。仮に復帰によって米国による制裁が緩和されれば、

イランと米国の対立は緩和するだろう。ただし、その際にはイランを敵視するイスラエルやサウジアラビアなどが警戒姿勢を強め、中東の緊迫感が高まる可能性がある点には留意が必要になる。

(3) 国内材料：菅政権と総選挙

金融市場は海外の影響を強く受け、国内材料は副次的な存在となってきたが、菅政権の政権運営は注目点だ。政権はかつてコロナの感染抑制と経済の両立を目指してきたが、後者に力点を置きすぎたためか、昨年終盤から感染が急拡大した。このため緊急事態宣言を再発令し、経済活動の制約を強めざるを得なくなっている。従って、今後は早期に感染を抑制して経済活動を再開し、両者の最適なバランスを保つことができるかが問われる。また同時にこれまで打ち出したデジタル化や温暖化対策などで実現に向けた取り組みを着実に進めていけるかもポイントになる。

上記に関連して、任期末である10月下旬までに行われる衆議院選挙も大きな材料になる。現在自民党は単独で議席全体の6割、公明党と合わせた与党として2/3を確保しており、これが政治の安定や政策推進力の下地になってきた(図表3)。与党での過半数割れは距離があるため考えにくい。自民党が大幅な議席減に追い込まれるような事態となれば、政治の安定に対する懸念から円高・株安に振れる可能性が高い。菅政権の支持率はコロナへの対応などを巡って急落していることから、早急に立て直せるかがカギになる。

[図表3] 衆議院 党派別議席数

注：議席数は全体で465議席、欠員が1議席
資料：衆議院資料よりニッセイ基礎研究所作成(2020.12.22現在)



3 ———— メインシナリオと下振れリスク

以上、今年の注目材料を見てきたが、最も重要な材料は世界経済を左右する「コロナ感染収束の可否」となる。

メインシナリオとしては、ワクチンの普及や知見の蓄積によって、感染が次第に収束に向かうと見ている。そうなれば内外経済活動も正常化に向かうと見込まれ、株価の追い風になる。また、経済が正常化に向かうなかでもFRBをはじめ主要国中銀が大規模な緩和を維持すると見込まれることも株価の支援材料になる。米大統領選の翌年は米株価が比較的上昇しやすいという経験則もある。年間を通じた方向感「上昇」と予想している。

ただし、これまでの急速な株価上昇によって、内外株価のPER(株価収益率)は大幅に上昇しており、割高感が高まっている。来年以降の景気回復を先んじて織り込んだ形となっているため、日本株の上値は限られそうだ。

また、ワクチンをはじめ、新型コロナウイルスを巡る不確実性は明らかに高いため、ワクチンへの期待後退といった下振れリスクへの警戒は怠れない。さらに、米国経済が思いのほか順調に回復した場合にも新たなリスクが浮上する。米量的緩和の年内縮小開始は考えにくいものの、縮小への地ならしが始まるだけで、内外株価の逆風になるだろう。

ドル円については、日米ともに金融政策の大幅な変更が見込まれない。円もドルとともに安全通貨とみなされ、多くの通貨に対して同方向に動く傾向が強まっていることから、大幅な変動は見込まれない。そうした中、米国の経済活動が正常化に向かうことで米金利がやや上昇すると見込まれることは円安ドル高材料になるだろう。米国の大規模な財政赤字と金融緩和がドルの余剰感を通じてドルの上値を抑えるものの、円安方向への緩やかな調整が入ると見ている。次第に1ドル105—110円のレンジへと回帰していくと予想している。

[*]大統領に加え、上院と下院の過半数を民主党が占めることを示す

発行も視野、中央銀行デジタル通貨

昨年の振り返りと2021年以降の展望



総合政策研究部 研究員 鈴木 智也

tsuzuki@nli-research.co.jp

1 — はじめに

世界で中央銀行デジタル通貨(英語表記: Central Bank Digital Currency, 以下CBDC)の研究開発が加速している。CBDCは、中央銀行が発行するデジタル化されたマネーであり、紙幣や硬貨等と同様の価値を有する、信用力が極めて高い法定デジタル通貨だ。近年、個人や企業などの幅広い主体が利用することを想定した「一般利用型」CBDCに注目が集まっている。

昨年(2020年)は、世界第2位の経済大国となった中国で、デジタル人民元のパイロット試験が開始されただけでなく、新興国のバハマやカンボジアで、CBDCが正式展開された「節目の年」となった。

CBDCには、個人や企業の利便性を高め、イノベーションの起爆剤になるとの期待がある反面、取引のトレーサビリティが高まることで、個人のプライバシーが低下し、金融政策に悪影響が及ぶことで、経済が不安定化するのではないかといった懸念もある。

ただ、CBDCは、長期的な視点で見た場合、経済安全保障に関わる政治的な側面も有しているため、国際的な開発競争が本格化しつつある。

本稿では、昨年の動向を振り返り、2021年以降の展望について考察する。

2 — 〈2020年〉慎重姿勢から転換

昨年は、小規模な新興国だけでなく、主要な経済国においても、CBDCへの取組み姿勢が変わる「節目の年」となった。

[中国] ——— 2019年にデジタル人民元構想が表面化した中国では、昨年4月以降、本格導入を見据えたパイロット試験が実施されている。

中でも、特に注目を集めたのが、深圳市政府と人民銀行が、10月に共同実施した「红包」キャンペーンという、デジタル人民元の配布イベントだ。同イベントでは、抽選で当選した5万人に対して、総額1,000万円(約1億6,000万円)を配布し、デジタル人民元の送金や支払といった基本的な機能の検証を行ったとされる。深圳市政府の公表によれば、47,573人が200元/人を受け取り、実際に羅湖区の3,389店舗で62,788件の取引に利用し、876.4万円が使用されたという。

また、12月には、蘇州市でも2倍に規模を拡大して「红包」キャンペーンが実施されている。そこでは、新たにオンライン決済機能やオフライン決済機能が追加されるなど、応用的な機能の検証が進められたようだ。

今年は、既に第3弾のイベントが深圳市で実施されており、デジタルデバッド対策として、カード方式の検証が進められている。

中国では、技術面や運用面における課題の洗い出し作業のほか、デジタル人民元の発行に向けた法律の改正作業も進められており、本格導入に向けた環境整備が進んでいる。

[米国] ——— 基軸通貨国である米国は、既存の国際秩序を守る立場から、主要国の中でも、とりわけCBDCに対して慎重な姿勢を示して来た。ただ、中国を始めとする各国で研究開発が加速する中、徐々に態

度が修正されつつある。

昨年2月には、米連邦準備理事会(FRB)のブレインード理事がスタンフォード大学で講演し、米国もCBDCに関する調査や実験を、実施していることを明らかにしている。また、6月には、パウエル議長が米下院金融サービス委員会で発言し、CBDCを「真剣に研究していく案件の1つだ」と述べている。さらに10月には、日本や欧州などが創設した「共同研究グループ」に合流し、国際的な連携を深め始めたことも分かって来た。

[欧州] ——— 欧州におけるCBDCの実用化に向けた研究は、スウェーデンのe-kronaプロジェクトが先行して来た。昨年12月には、スウェーデン政府が公式にe-kronaの実現可能性についての調査を開始し、2022年11月末までに調査を完了する方針を示している。

また、スウェーデンと同じく、CBDCに前向きな姿勢を示して来た英国では、イングランド銀行のベイリー総裁が、7月の学生向けウェビナー・イベントで講演し、CBDCの作成について、英国も検討を進めていることを明らかにしている。

さらに10月には、ユーロ通貨圏の金融政策を担う欧州中央銀行も「デジタルユーロ」に関する報告書を公表し、プロジェクトを開始するか否かの決定を、2021年半ばに掛けて行うことを明らかにしている。

[新興国] ——— なお、CBDCの発行に対する動機は、先進国より、むしろ新興国や途上国で強いことが知られている。それらの国では、金融システムが未成熟なこと



すずきともや
11年日本生命保険相互会社入社。
18年ニッセイ基礎研究所
日本証券アナリスト協会検定会員。

が多く、CBDCの導入により、金融包摂(金融サービスへのアクセスの改善)が促進され、金融政策の有効性や金融システムの安定につながることを期待されている。

昨年10月には、中南米のパナマで、初めてCBDCの正式運用が始まり、その8日後には、東南アジアのカンボジアでも、正式運用が開始されている。

[日本] —— 昨年の大きな特徴として、デジタル円の発行に関する、政治面の動きが活発化したことが挙げられる。

昨年2月、自民党のルール形成戦略議員連盟が、経済安全保障上の視点から、デジタル円の導入を検討するよう促す提言をまとめると、6月には、自民党の金融調査会が、金融面の問題に対処するための提言を取りまとめ、CBDCの「より具体的な検討を直ちに開始すべき」との考えを表明している。政府は、それらの動きを受けて、政権の経済財政政策の基本方針を記す「骨太の方針2020」に、初めてCBDCの検討方針を盛り込んでいる。また10月には、自民党の新国際秩序創造戦略本部が、CBDCの導入に必要な関連法の改正を促す提言を策定している。

このような政治の動きは、日銀の研究開発にも影響を及ぼし始めている。昨年2月、日銀の決済機構局内に「CBDCに関する研究チーム」が発足すると、7月には、それを改組する形で「デジタル通貨グループ」が創設されている。そして、その初代グループ長には、他のグループ長と同じ企画役ではなく審議役が就任し、研究開発を強力に推進する体制が整えられた。さらに10月には、デジタル円の実証実験

を、2021年度の早い時期に開始するとの計画が示されている。同計画は、プロジェクトの実現可能性を、技術的な観点から検証する2段階の実証実験と、本格導入に向けた課題を検証する1段階のパイロット試験で構成されるという。

3 —— (2021年) 加速する潮流

日本銀行法には、日本銀行券の種類や発行は「政令で定め」、その様式は「財務大臣が定める」との記載がある。それを踏まえると、デジタル円の発行についての決定権は、政府にあると見ることもできる。

日本におけるデジタル円の発行可能性を考えると、政治における議論がさらに進み、一歩踏み込んだ決断が為されれば、相対的に慎重な姿勢を見せる日銀も、姿勢の転換を迫られるかもしれない。足元では、日本銀行法や通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律など、関連法の改正に向けた議論も始まっている。日銀に対する国

内圧力は、今後も弱まることはないだろう。

なお、国内の議論は、海外の動向にも左右され得る。特に、デジタル人民元への対抗で連携を模索する、米国の動きには要注目だ。米国では、民主党の方がCBDCに対して親和的であり、バイデン政権のもとで、デジタルドルを巡る議論も加速する可能性がある。米国の動向次第では、国外からの圧力も強まることが予想される。

下図は、世界の主なCBDC導入計画や、その見通しをまとめたものだ。通貨のデジタル化は、すでに世界の大きな潮流となっており、この流れに逆らって進むことは難しいだろう。デジタル通貨を巡る国家間、および官民の競争は、CBDCの発行が現実的な課題として認識されたこれからが本番だ。今後、デジタル通貨を利用した様々なユースケースが、次々と生まれて来るだろう。私たちの生活やビジネスの在り方を変えるこの潮流からは、これからも目を離すことができない。

[図表] 注目度の高い「一般利用型CBDC」の開発／導入計画

注：概念実証は、技術的側面から、CBDCの基本機能や周辺機能を検証する段階。
パイロット試験は、本格導入を見据えて、民間事業者や消費者などが参加する段階。
資料：各国政府機関および中央銀行、各種報道などをもとに作成

中央銀行	名称	2019年	2020年	2021年～
パナマ中銀	サンドダラー	パイロット試験開始 (12月～)	本格導入 (10月)	
カンボジア中銀	バコン	パイロット試験開始 (7月～)	本格導入 (10月)	
中国人民銀行	デジタル人民元		パイロット試験運用 (4月～)	本格導入 (21年頃予定)
リクスバンク (スウェーデン)	e-krona		パイロット試験運用 (2月～)	本格導入 (22年頃判断)
ロシア中銀	デジタルルーブル			パイロット試験開始 (21年頃予定)
日銀	デジタル円			概念実証開始 (21年頃予定)
ECB	デジタルユーロ			概念実証開始 (21年頃判断)

「ぴえん」とは何だったのか



生活研究部 研究員 廣瀬 涼

hirose@nli-research.co.jp

1——泣きの擬態語(オノマトペ)

『三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2020」』選考発表会が11月30日、都内で行われ、大賞には「ぴえん」が選出された。「ぴえん」とは2018年から使われるようになった擬態語で、泣いている様子を現す若者の言葉の一つである。泣いている様子を現す擬態語は「しくしく」や「ぼろぼろ」「ほろっと」など数多く存在する。泣きわめく表現としては「えんえん」や「わんわん」などは古くから使われている。マンガのように絵で感情の起伏を表現するコンテンツの中では、「ぴえん」など泣きわめいている様子を如何にして文字で表すか創意工夫がされてきた。実際に現実の赤ちゃんがそのような音を発しているかは別として、赤ちゃんが泣く擬態語として古くから「ぴいぴい」と言う言葉が存在していたという。“ぴ”という音を用いて泣く様子を現すことで、幼児性を表現することができるという土壌は少なからずマンガなどのコンテンツを嗜好する人々の中にあっただといえるだろう。「ぴえん」もこれらの派生であり、「ぴえん」という擬態語に“び”という音を宛てがい、「ぴえん」と表記(発声)することで、とりわけ幼さを表現してきたことが起源であると筆者は考える。しかし、現代の「ぴえん」のような多様性を含んだ言葉ではなく、あくまでも泣きわめいているさまを表すものであった。

2——「ぴえん顔」の登場と

若者言葉としての「ぴえん」

LINEリサーチによると10代の34.4%が「ぴえん」を日常で使っていた。筆者が10代、20代を対象に行った「ぴえんに関

する調査」で、どこで「ぴえん」を使用するか聞いてみたところ、LINEが94%と最も高く、日常会話(88.5%)、Twitter(70%)と続くなど、主に文字媒体でのコミュニケーションで使用されている。若者言葉としての「ぴえん」が使用されるようになった背景として、絵文字環境の標準化が挙げられると筆者は考える。2018年、符号化文字集合や文字符号化方式などを定めた文字コードの業界規格であるUnicodeに「Pleading Face」が追加された。大きな瞳に下がった眉毛をした何かを訴えかけようとしているその絵文字は、Androidが8月に9.0Pie、Appleが10月にiOS12をそれぞれリリースするタイミングで追加されると、デザイン性から若者を中心に使用されることとなる。「ぴえん」という言葉がこの絵文字と一緒に使われている点や、言葉の流行のタイミングを考慮に入れると、「ぴえん」という言葉と絵文字に関係性がある事は容易に推測がつくが、決してこの絵文字が誕生したことで「ぴえん」という造語が生まれたわけではない。「ぴえん」という言葉自体はそれ以前から存在していた。Pleading Faceが存在する以前は、涙を流している絵文字や顔文字とともに「ぴえん」という言葉もSNSで投稿されていたが、泣いている度合いが「ぴえん」という言葉を使う人同士でも様々であった。この理由として当時の「ぴえん」は、あくまでも「ぴえん」の派生語である「ぴえん」を簡略化したものとして使用していた者と、“ぴ”と“ん”の間の“え”の文字数で泣きわめく声の大きさや長さを視覚化するという方法に由来して使用していた者がいたからである。

「ぴええええええ——ん」

「ぴえん」

※上の方が下よりも泣き喚いている様子を表すことができる。

その後Pleading Faceが登場することで、“え”の個数で悲しさを表現していた人々が、大泣きするまでもない感情を、この絵文字と「ぴえん」を最少の“え”の数で「ぴえん」と表現するようになったことからPleading Faceは、「ぴえん顔」として定着していったと筆者は考える。元々絵文字は感情を表現する方法として作られているが、Pleading Face(ぴえん顔)の場合は、絵文字に「ぴえん」という感情が後付けされたといえるだろう。

3——ぴえんから分離された「ぴえん顔」

「ぴえん」と「ぴえん顔」がセットで一つの若者文化として定着したことで、若者文化としての「ぴえん」から言葉と絵文字が分離されて消費されるようになる。前述した通り、「ぴえん」という言葉はPleading Faceによって、その言葉の持つ感情のニュアンスが体系化されたもので、一方Pleading Faceは言葉としての「ぴえん」を表すものとして定着した。そのため、一種の相互補完によって、文字、絵文字がそれぞれ単独で若者文化としての「ぴえん」を表現できるようになったのである。言い換えると「ぴえん」という言葉は絵文字の「ぴえん顔」を表し、「ぴえん顔」は「ぴえん」という言葉の持つニュアンスを表すようになったのである。



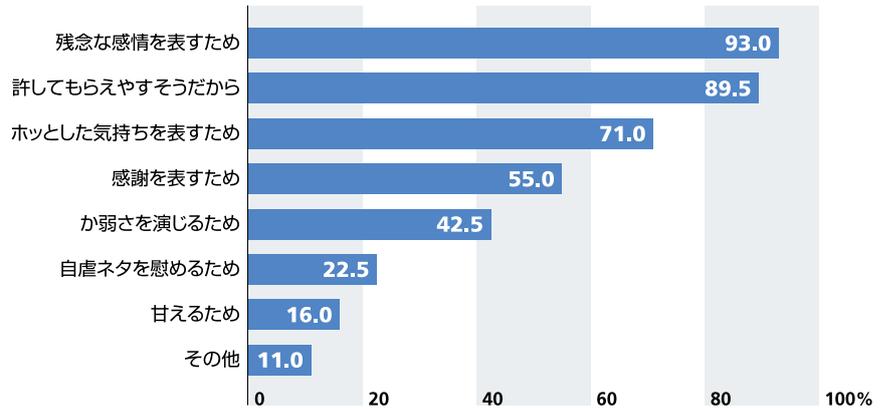
ひろせ・りょう
19年 ニッセイ基礎研究所入社

4—— 「びえん」を使う理由

「びえん」は嬉しいことや悲しいこと問わず、泣き出してしまう寸前の感情を表している。また、Pleading Faceの視覚的な情報も合わさり、かわいさやあざとさを表す言葉として使われるようになった。筆者は前述した調査で、どのような意図で「びえん」及び「びえん顔」が使用されているか聞いている（図表1）。

「残念な感情を表すため」が93.0%と最も高い。また「許してもらえやすそうだから」も概ね9割と高い。回答者に理由を聞くと「びえんという顔文字で目がうるうるするほど反省している、と伝えようとしている」や「びえんと一言つぶやいて、ぐうの音も出ないほど反省している状態を表そうとしている」といった旨の回答が多く、「か弱さを演じるため」(42.5%)や「甘えるため」(16.0%)とも類似する点があると思われる。前述した通り、「び」という音を用いて泣く様子を表現することで、幼児性を表現することができるという土壌がコンテンツを嗜好する人々の中にあつた。「びえん」という言葉は「ばぶー」や「おぎゃー」と同様に幼児言葉としての特性をもち、使用することで、か弱さやコミュニケーション相手に対して甘えたいという感情をほのめかす作用があるようにも思われる。また、「ホッとした気持ちを表すため」も7割を超えて高い。例えば、「〇〇ちゃんに宿題を見せてもらった。びえん」という文から考えると、宿題を見せてもらった感謝と宿題が終わった安堵感を垣間見ることができる。「びえん」の一言がため息のような役割を果たしていることがわかる。このように「びえん」という言葉はPleading Faceか

[図表1] どのような意図で「びえん」および「びえん顔の絵文字」を使うのか(複数回答N200)



ら読み取ることができる感情を表現しており、多様な意味を含む言葉として成立している。「びえん」という言葉が支持されている理由には、言葉のもつ曖昧さも背景にあるのかもしれない。

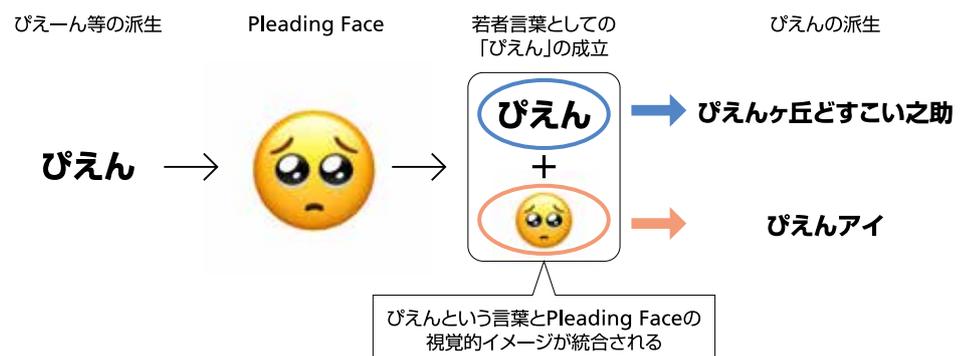
5—— びえんの今

「びえん」という言葉とPleading Faceが相互補完によって、独立して「びえん」という状態を表すことができるようになったことで、それぞれが独自の文化として変化し始めた。「びえん」という言葉自体は、派生語が多く生まれ、例えば「びえん超えてパオン」は、びえんよりも感極まった時に使われる言葉で「2020年上半期

ティーンが選ぶトレンドランキング」のコトバ篇の6位にランクインしている。また、AMFの「JC・JK流行語大賞2020」のコトバ部門の3位にはびえん最上級表現として「びえんヶ丘どすこい之助」がランキングしている。

「びえん顔」として認知されたPleading Faceも派生し新しい文化を生み出している。例えば「びえんアイ」である。NMB48の吉田朱里が実践し話題となったアイメイク方法で、「びえん顔」のような、ウルウルとした瞳を表現することができるらしい。このように言葉と絵文字がお互いの意味と視覚的情報を補完し合ったことで、独立した文化として成立しているのである（図表2）。

[図表2] 若者文化としての「びえん」の構造 出所：筆者作成



骨太方針に盛り込まれた「社会的処方」の功罪を問う

薬の代わりに社会資源を紹介する手法の制度化を巡って



保険研究部 主任研究員 三原 岳
mihara@nli-research.co.jp

1 — はじめに

～社会的処方の功罪を考える～

2021年度政府予算案の調整では「社会的処方(Social prescribing)」の制度化に向けた議論が進んだ。これはストレスや孤立などを感じている人に対し、医師が薬の代わりに患者団体などコミュニティの資源などを紹介することで、その人に生き甲斐や社会参加の機会などを持ってもらう方法であり、英国などで実施されている。昨年7月の骨太方針(経済財政運営と改革の基本方針)でモデル事業の実施方針が唐突に盛り込まれ、介護報酬改定への反映を視野に入れた議論が展開された。

結局、今回の制度化論議は「小粒」に終わりそうだが、ソーシャルワークとの違いが不鮮明な点で、診療報酬への反映など本格的な制度化には慎重な姿勢が求められると考えている。

以下、社会的処方の発祥地である英国の事例を見つつ、社会的処方の制度化に向けた論点や課題を問う。

2 — 社会的処方とは何か

～英国の事例を中心に～

まず、社会的処方の定義を簡単に整理しよう。これはsocial prescribingの翻訳であり、源流は英国に求められる。英国の医療保障制度であるNHS(国民保健サービス、National Health Service)のウェブサイトを見ると、「社会的処方とは、個人に最適化されたケアを提供する構成要素の一つ」と説明されている。さらに、NHSの

ウェブサイトでは、社会的処方の主な対象として、慢性疾患などで長期的に支援を要する人、メンタルヘルス面での支援が必要な人、孤立・孤独を感じている人、複雑な問題を持った人を例示している。

例えば、仕事のストレスや孤独感で不眠を訴えている人に対し、睡眠薬を処方しても対症療法に過ぎず、不眠を解決しようとすると、ストレスを生み出している原因を考える必要がある。

そこで、社会的処方の考え方に立つと、患者の趣味に近いサークルなどを紹介することで、ストレスを解消する方策が考えられる。

ただ、医師がコミュニティのサークルなどを知っているとは限らないため、「リンクワーカー(Link worker)」という非医療職の市民が間に立ち、患者と社会資源を繋げている。

こうした方法は英国内で1980～1990年代からコミュニティレベルで取り組みがなされていたが、2006年の政府文書に盛り込まれたのを受けて、関心が集まるようになり、リンクワーカーの件費も財政支援されるようになった。

では、社会的処方はどんな効果が期待されているのだろうか。英国におけるパイロット事業の成果として、慢性疾患の患者や家族がコミュニティの活動に関わることを通じて、自立的になって孤立感を解消できたと説明されている。さらに病院の利用が減ってコスト縮減効果を期待できる点なども言及されている。

しかし、実証研究の蓄積は十分とは言えず、現時点では十分なエビデンスが示されているとは言えないようだ。

3 — 社会的処方に関する国内の事例

実は、国内でも社会的処方の実践が試みられている。その一例として、神奈川県川崎市を拠点とした「社会的処方研究所」の取り組みが挙げられる。この研究所は、がん専門医を中心に、民間有志で運営されており、市民や専門職を対象とした会合を定期的に行っている。参加者が地域を歩き、「音楽を楽しめる喫茶店があった」といった形で社会資源となり得る地域の資源を調査したり、それを会合で紹介し合ったりして、「地域資源の調査→資源の蓄積→資源の創出」という流れを意識している。このほか、栃木県医師会が社会的処方の活用を視野に入れ、「在宅医療・社会支援部」を創設しており、地元の『下野新聞』が特集を展開している。

さらに、全人的なケアを提供するプライマリ・ケア専門医で構成する学会、日本プライマリ・ケア連合学会は2018年3月に公表した「健康格差に対する見解と行動指針」で、健康格差の是正に取り組む際の方法として、社会的処方に言及した。

4 — 自民党の議論、審議会の動向

1 | 骨太方針の記述

こうした社会的処方について、2020年7月17日に閣議決定された骨太方針では、モデル事業の実施に向けた文言が盛り込まれた。だが、経済財政諮問会議などで社会的処方が議論された形跡が見当たらず、唐突な印象だった。

この背景には2019年11月に発足した自民党の「明るい社会保障改革推進議員



みはら たかし
95年 時事通信社入社。
11年 東京財団研究員を経て、17年10月 ニッセイ基礎研究所(現職)。
「医業経済」に「現場が望む社会保障制度」を毎月連載中。
主な著書に「地域医療は再生するか〜コロナ禍における提供体制改革〜」、
「必修自治体職員ハンドブック(第8版)」(共著)。

連盟」の動きがあった。議連は「個人の健康増進」「社会保障の担い手の増加」「成長産業の育成」を同時に満たす「明るい社会保障改革」の実現を掲げており、2020年6月に公表した報告書では様々な健康づくり政策の一環として、「社会とのつながりを処方する社会的処方の推進」をうたい、骨太方針に反映された。

2 | 介護報酬改定の議論

その後、2021年4月からの介護報酬改定を議論している社会保障審議会(厚生労働相の諮問機関)介護給付費分科会で社会的処方の制度化が論じられ、医師による在宅ケア支援を介護報酬で評価する居宅療養管理指導の改定に際して、社会的処方の考え方を反映させる形となった。

しかし、全体の制度で見ると、居宅療養管理指導のウエイトは大きいとは言えず、骨太方針に盛り込まれた割に「小粒」に終わった。しかも、昨年末に公表された分科会の審議経過報告では「社会的処方」の言葉は直接的に用いられず、「要介護者の社会生活面の課題にも目を向け、地域社会における様々な支援へとつながるよう留意」などと盛り込まれるにとどまり、社会的処方という言葉は使われなかった。

一方、加藤勝信官房長官は厚生労働相時代、社会的処方の「制度化」をいち早く提唱した社会疫学の研究者との対談で、社会的処方のモデル事業推進に前向きな姿勢を示しており、今後も論点になる可能性がある。以下、本格的な制度化に向けた課題として、ソーシャルワークとの違いが不鮮明な点を挙げたい。

5—— 社会的処方の制度化を巡る疑問

ソーシャルワークとは一般的に個を地域で支える援助と、個を支える地域を作る援助を一体的に推進する方法である。つまり、健康や生活について生きにくさを感じている個人への援助に加えて、個人を取り巻く地域づくりも一体的に推進するアプローチであり、「個人を社会資源に紹介」「個人と地域づくりを一体的に推進」という方法は社会的処方と同じである。

しかし、社会的処方の場合、医療の観点から社会資源に視野を広げようとしているのに対し、ソーシャルワークは数多くのサービスや社会資源の一部として医療を捉えている点で、発想は逆である。この結果、社会的処方には「医療化」の危険性が付きまとう。医療化とは医療社会学の概念であり、ここでは一般的な意味として「医学で解決しなくても済む健康上の課題について、医療や医学が必要以上に介入すること」と整理する。

これを社会的処方に当てはめてみよう。例えば、患者が社会的孤立を訴えた際、社会的処方が診療報酬上の加算のような形で制度化されれば、報酬目当ての社会的処方が相次ぎ、社会資源の担い手である住民などの負担感が増す結果になりかねない。

あるいは通常のコミュニティレベルで解決する問題、あるいはソーシャルワークで処理できる問題について、医師が社会的処方を通じて介入することになり、必要以上に他の専門職が医師の指示に服すなどの危険性も孕む。

もちろん、患者との対話や多職種との連

携などが担保されれば、懸念は杞憂に終わるかもしれないが、ソーシャルワークへの意識を持たないまま、社会的処方を本格的に制度化すれば、他の専門職や住民が必要以上に医師の動向に振り回される副作用を生むかもしれない。むしろ、医学では解決し切れない複雑な案件ほど、地域社会や他の職種に「処方」される危険性さえ想定される。

6—— おわりに

筆者個人の意見では、社会的処方の実践に反対しているわけではない。社会的処方を通じて、孤独の解消や多職種連携が進むこと自体、患者や市民にとってマイナスとは言えないためだ。しかし、本格的に制度化するのであれば、「医療化」の懸念には留意しなければならないし、福祉業界を中心とするソーシャルワークの蓄積などを踏まえる必要がある。

今回の制度化論議は局所的な結果に終わりそうだが、複雑な生活を個人と地域の双方で支えるソーシャルワークに基づく実践など、現場の地道な取り組みが求められる。

本稿は2020年11月30日掲載のレポートを再構成した。制度化の課題として、英国の制度との違いにも留意する必要があるが、紙幅の都合で省略した。参考文献などと併せて、詳細は下記を参照。
<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=66226?site=nli>

AIと研究開発DX

人間とAIが協調・調和するハイブリッド環境が欠かせない



社会研究部 上席研究員 百嶋 徹
hyaku@nli-research.co.jp



ひやくしま・とおる
1985年野村総合研究所入社、証券アナリスト業務、
財務・事業戦略提言業務に従事。1998年ニッセイ基礎研究所入社。
明治大学経営学部特別招聘教授を歴任(2014~16年度)。
専門は企業経営、イノベーション、AI-IoT、スマートシティ、企業不動産(CRE)等。
領域融合的な視点で企業経営に資する提言的な調査研究に努める。

企業の研究開発プロセスへのAI活用

社会を変えるような革新的な製品の開発には、外部の叢智や技術も取り入れる必要があり、世界中で発表された膨大な数の多様な領域の研究論文や過去に実施された実験データなどのビッグデータの活用が求められる。しかし、このような多様で膨大なビッグデータは、人間の経験や勘だけでとても扱えるような規模ではない。このため、人工知能(AI)の活用により、人間では発見できないデータ間の相関関係や最適な組み合わせを、ビッグデータから網羅的・効率的に解析・発見することが必要になってきている。

例えば、大手素材メーカーが手掛ける電子材料など機能性材料の開発では、ビッグデータやAIを活用した「マテリアルズ・インフォマティクス(MI)」と呼ばれる、新たな材料設計手法を取り入れようとする動きがある。これは、多くの試作回数、長い開発期間を要する、勘や経験に基づくこれまでの非効率な開発プロセスを刷新しようとする試みだ。

複雑化する研究開発プロセスにAIを導入すれば、膨大な物質の組み合わせの中から人間が思いもつかなかった新素材を、実験・試作工数を最小限に抑えて探し出すことができる。すなわち、MIの狙いは、高速な材料設計による「プロセス・イノベーション(業務プロセスの効率化)」と、新規材料の探索による「プロダクト・イノベーション(新技術・新製品の創出)」にある、と言える。研究者・エンジニアは、ビッグデータの分析時間や実験・試作工数の短縮により浮いた時間で、より創造的な活動を業務内外で行うことができるだろう。

このようにAI利活用の目的は、イノベーションを通じた「社会的価値」の創出にあるべきだ、と筆者は考える。

現実空間と仮想空間の融合がDXを推進

最先端テクノロジーを駆使して社会課題を解決する「第4次産業革命」や「Society5.0」では、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させた「サイバーフィジカルシステム(CPS)」が重要と考える。すなわち、現実空間で収集・蓄積されるビッグデータが、仮想空間でAIにより解析され、その解析結果が現実空間にフィードバックされ、イノベーションを通じて社会課題解決に活かされ、最終的に社会生活の質(QOL)を豊かにする世界だ。

一方、企業がデータとデジタル技術を活用して、ビジネスモデルや業務プロセスから組織や企業文化までも変革しようとする取組である「デジタルトランスフォーメーション(DX)」も、CPSにより強力に推進できる、と筆者は考えている。MIはCPSの構造を取り入れたものであり、研究開発プロセスへのAI活用は「研究開発DX」を推進するドライバーを担う、と言える。創薬研究でもビッグデータやAIを活用する動きが見られる。

人間とAIのコラボレーションが不可欠

企業は、AIの活用で研究開発DXを進める一方で、必ずしも合理性や常識にとらわれず、研究者・エンジニアの偶発的な行動が、思いがけない発見(=セレンディピティ)を引き寄せ画期的なイノベーションにつながり得ることに留意すべきだ。例えば、実験の失敗など一見非合理的なプロセスを経て、世界を変えるような大発明が生まれることがある。

しかし、研究者・エンジニアの一見非合理的な行動は、暗黙知そのものであり、データ化(形式知化)してAIに学ばせることは非常に難しい、と思われる。このように、すべての研究開発業務をAIでシステム化できるわけ

ではない。人間にはできない多様で膨大なビッグデータの網羅的・効率的な解析をAIに任せ、研究者・エンジニアは、合理性のみにとらわれない創造性を発揮することやAIによる分析結果を参考に意思決定をすることで互いに得意分野を担い、人間とAIが協調・調和して業務を遂行できる「ハイブリッド環境」を実現することが望まれる。

企業の研究者・エンジニアは、AIによる自動分析の利便性に安住し、その分析結果を十分に吟味しないまま機械的に業務の意思決定に用いてしまったり、また学会活動、異業種交流会、多様で創造的な人々が集うコワーキングスペースなどへの参加といった、偶発的な出会いを求めて行う地道な創造的活動を怠ってしまうことは禁物だ。そのようなスタンスが社内に蔓延してしまうと、研究者・エンジニアの能力退化を招いてしまい、AIに真っ先に代替・淘汰される人材を増やし、イノベーションが起こらない社内環境を作ってしまうことになりかねない。

研究者・エンジニアは、AI利活用を受け身や他人事ではなく「自分事」として捉えAIに向き合っ、AIによる分析結果の持つ意味をしっかりと考え、それを活かしながらも自らが業務の意思決定を行わなければならない。

「CPSがDXの強力な推進役を担う」と述べたが、CPSという「構造」を形式的に取り入れるだけではなく、CPSという「仏に魂を入れる」ように、人間がAI利活用を「自分事化」し、明確な目的を持ってAIを使いこなす「AIマネジメント能力」を身に付け磨いていかなければ、実のところ、DXの強力な推進は難しい。

詳しくは、研究員の眼「AIと研究開発DX」(2020年12月28日)を参照されたい。
<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=66478>

バイデン新政権発足、円相場への影響は？

ドル円は年初に一時1ドル102円台に下落した後、上昇に転じた。5日に行われた米上院決選投票の結果、(大統領と上下院の多数派が民主党で揃う)「トリプルブルー」が決まったうえ、大統領就任を控えたバイデン氏が巨額の経済対策を公表したことを受けて米景気回復期待や国債増発観測、量的緩和縮小の前倒し観測が高まり、米金利の上昇を通じてドル買いが強まったためだ。一時104円台前半を付けた後、足元も103円台半ばにあり、ドル安基調は一服している。

20日に発足したバイデン新政権は、基本的にドル高要因と考えられる。上下院の多数派を占めたことで、政策実現のハードルが下がった。先日に見られたように、大統領の掲げる財政出動による景気回復期待等が米金利押し上げを通じてドル高圧力になる。ただし、上院民主党はギリギリの過半数に過ぎないうえ、党内に極端な主張を持つ急進左派を抱えることから政策の調整は難航しやすく、規模や内容もトーンダウンしやすい。ドル円への影響度はマイルドなものになりそうだ。

当面は先日バイデン大統領が掲げた1.9兆ドルの経済対策の実現性を見定める時間帯に入り、ドルの上値は重くなりそうだ。その後、春先には実現の目途が見えてくるうえ、ワクチンの接種が進んで景気回復期待が強まることで、再びドル高に振れる展開を予想している。3カ月後の水準は105円前後と見ている。

ユーロ円は、今月上旬に米財政出動への期待を受けたリスク選好的な円安ユーロ高が進み、一時127円台を付けたが、欧州におけるコロナ対応の行動制限強化やイタリアの政局不安を受けて下落し、足元は126円付近にある。欧州景気は厳しさを増しており、今後もユーロには下落余地がありそうだ。しかし、既述の通り、春先には米経済対策への期待が高まり、リスク選好的な円売りユーロ買いが見込まれるため、3カ月後の水準は現状比横ばい圏と予想している。

長期金利は、今月も引き続き0.0%台前半のレンジ内で推移しているが、米金利上昇や日銀による金利変動幅拡大観測を受けて若干水準を切り上げている。日銀が金利の明確な上昇を促すとは思えないが、春先には米金利上昇が波及する可能性が高い。3カ月後の水準は現状比で若干上昇とみている。



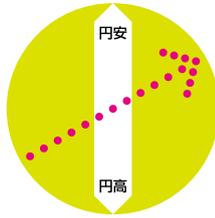
上席エコノミスト **上野 剛志**
うえの つよし | tueno@nli-research.co.jp

1998年日本生命保険相互会社入社、
2001年同財務審査部配属、
2007年日本経済研究センターへ派遣、
2008年米シンクタンク The Conference Boardへ派遣、
2009年ニッセイ基礎研究所。

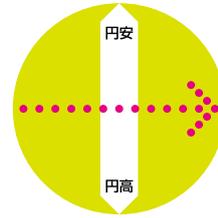


Market Karte

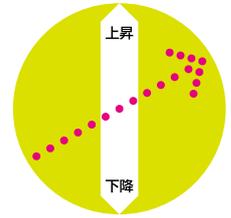
February 2021



ドル円・3カ月後の見通し



ユーロ円・3カ月後の見通し



長期金利・3カ月後の見通し

ドル円為替レートの推移 [直近1年] 資料:日本銀行



ユーロ円為替レートの推移 [直近1年] 資料:ECB



長期金利(10年国債利回り)の推移 [直近1年] 資料:日本証券業協会



レポートアクセスランキング

- 1 中期経済見通し(2020~2030年度)
経済研究部 [エコノミストレター | 2020/10/13号]
- 2 「びえん」とは何だったのか
廣瀬 涼 [基礎研レポート | 2020/12/4号]
- 3 世界総楽観に潜む株価急落リスクを点検
~2021年の株価見直し~
井出 真吾 [基礎研レポート | 2020/12/28号]
- 4 コロナ禍を上手く乗り切っているのはどの国か?
—50か国ランキング(2020年10月更新版)
高山 武士 [経済金融フラッシュ | 2020/10/28号]
- 5 コロナ禍における生活の変化(1)
—「新型コロナによる暮らしの変化に関する調査」からみる
生活行動の変化と地域間較差
井上 智紀 [基礎研レター | 2020/12/16号]

コラムアクセスランキング

- 1 新型コロナ ワクチンの優先順位
—誰からどの順番で接種すべきか?
篠原 拓也 [基礎研REPORT-ColumnⅢ | 2020/12/8号]
- 2 新型コロナ「特措法」改正の方向性
—罰則規定と補償規定の導入
松澤 登 [研究員の眼 | 2021/1/8号]
- 3 新型コロナ 集団免疫論の是非
—ワクチンがなくても、集団免疫は確立できるか?
篠原 拓也 [研究員の眼 | 2020/11/24号]
- 4 新型コロナ ワクチンの優先順位
—誰からどの順番で接種すべきか?
篠原 拓也 [研究員の眼 | 2020/10/26号]
- 5 AIと研究開発DX
—人間とAIが協調・調和するハイブリッド環境が欠かせない
百嶋 徹 [研究員の眼 | 2020/12/28号]

ニッセイ基礎研究所のホームページで検索されたレポートの件数に基づくランキングです。《アクセス集計期間20/12/21~21/1/17》

www.nli-research.co.jp



変わる時代の確かな視点



表紙の眼
・
自画像
エゴン・シーレ
制作年：1912年
所蔵：レオポルト美術館
From Wikimedia Commons

洋服の1世帯当たり年間支出金額 [二人以上の世帯 | 2月9日は服の日]

Source : 総務省統計局「家計調査結果」 | Design : infogram©

